令和7年度(第1回)山鹿市総合教育会議 会議録

	The state of the s
日時	令和7年7月23日(水) 9時30分~10時20分
場所	山鹿市役所(4階402会議室)
	早田市長
	堀田教育長
	教育委員:野中委員、野口委員、立山委員、芹川委員
	市 職 員:吉岡総務部長、西島教育部長、北本首席教育審議員、小林教育総務課
出席者	長、田上学校教育課長、林田学校教育指導室長、宮野学校教育指導室審議
	員、淺野学校教育指導室審議員、三森生涯学習・スポーツ課長、渕上文化
	課長、坂本教育総務課審議員、山口文化課審議員、前田教育総務課課長補
	佐、森生涯学習・スポーツ課課長補佐、菊川生涯学習・スポーツ課課長補
	佐、宮崎文化課課長補佐、佐藤教育総務課政策主幹、木庭学校教育課学務
	係長、坂本学校教育課教育支援係長、井上教育総務課総務企画係長
傍聴者	なし

- 1 開 会
- 2 議 題
 - (1) 第3次教育大綱の検証について
 - (2) 第4次教育大綱の策定について
- 3 その他
- 4 閉 会

発言者	発言内容
佐藤教育	おはようございます。
総務課政	それでは、定刻となりましたので、令和7年度 第1回 山鹿市総合教育
策主幹	会議を開催します。ご起立をお願いします。礼。ご着席ください。
	まず、開会に際しまして、議題と会議の公開の可否について確認します。
	本日の議題は、これまでの「教育大綱の検証」と令和8年度からの「教
	育大綱の策定」となっております。
	これらの議題につきましては、非公開とすべき事由がないことから、本
	日の会議、及び議事録につきましては公開とします。
	また、会議の時間につきましては、市長の公務もございますので、午前
	10 時 30 分には終了したいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いし
	ます。
	なお、本日は、傍聴の申し込みはありません。
	それでは、早速ですが、議題に入ります。
	これからは、早田市長に会議の議長をお願いいたします。
	早田市長、よろしくお願いします。
早田市長	それでは本年度の第 1 回の山鹿市総合教育会議ということで、議題にあ
	ります通り第3次の教育大綱の検証、それから第4次の教育大綱の策定と
	いうことで、皆さん方からご意見をいただきたいと思います。
	その前に、4年前のこの同じ会議のときに私が申し上げたことを議事録に
	とってありますので、抜粋してどういったことを言ったかというのをおさ
	らいでもう 1 回ご披露をさせていただいて、検証と次の策定の参考にして
	いただければと思います。よろしくお願い申し上げます。
	それでは4年前の私の教育に対する思いを述べさせていただきます。
	「命」を輝かせる教育、「志」を育てる教育、「生き抜く力」を育む教育と
	ありますが、本当に奥深く、考えれば考えるほど、こういったことに辿り着
	くと思いました。この大綱を否定するわけではなく、これをベースにして
	私の考えを入れた時に、どうなるのかを考えていただければと思います。
	私は、選挙で「山鹿創生」ということを皆さん方に訴えてきました。この
	「山鹿創生」とは、山鹿市民の持つポテンシャルを引き出すこと、これが私
	に課せられた使命だと思っております。山鹿市民の持つやさしさ、進取の
	気性、連帯感、これらを山鹿の古人に学び、これらを現代に作り変えるこ
	と、これが「山鹿創生」です。これを具体的に形に変えていかなければなり
	 ませんが、具体的に何をどうしろということではございません。基本的に、
	 子どもたち就労前の若い世代に「知識」と「体力」と「思いやりの心」を伸
	ばしていきたいと思っています。
	仕事をしている人は、環境に注意を払いながら積極的に労働に励み、自
	分の能力を社会に活かすこと、また、働きたくても働けない人にも心を配
	り、バランスの取れた社会を意識すること、年を取って高齢者になったら、
	経験を後世に伝え社会に活かす喜びを享受すること、ということが基本的
	なことであると思います。最初に申し上げました、就労前の若い世代に知

識と体力と思いやりの心を伸ばすことは基本的なことであると思いますが、基本的なことをしっかりと伸ばしてやることが大切だと思っています。

それから、私が今、子どもたちを見ている中で、これから必要になってくるだろうというのは、今、非常に社会の動きが速いです。10年前と10年後の今では携帯電話やパソコン、車など全てにおいて進化が速い。今後10年後といっても、ものすごい進化が訪れると思います。そういった社会情勢に対応する力を育成する。これは世界を視野に含めたところです。それから、最近はSNS等で人と相対して話すということが随分減っているということです。相対して話す社会性、コミュニケーション能力をしっかりつけていただきたいと思っております。

後は、きちんと挨拶すること、礼儀作法を学校で学んでいると思いますが、一つ気になるのが、生き抜く力と書いてありますが、すべてこれに含まれてくるとは思いますが、災害等で自分の身を自分で守るということです。いざとなったときに、自分の身を自分で守るという力、これは病気でも何でも、自分の健康状態、自分の身を守るためにどういう勉強をしなければいけないのか、そういう守る知識もしっかり養っていただきたいと思います。 私の思いをざっくりお話させていただきましたので、これから皆様と意見交換をしながらより良い大綱の策定をしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

ということで 4 年前の今日、皆様方にお伝えをしたところです。そして今、これにプラスして付け加えるとするならば、幼児教育ですね。幼児教育の大切さ、それと昨年、「健康都市宣言」をいたしましたけれども、健康、心と体の健康、こういったものを含ませていくことが必要ではないかと私なりには思っております。

このことを含めて皆さん方のご意見をいただきたいと思います まず、議題(1)の『第3次教育大綱の検証』について、これまでの経過 を踏まえ説明をお願いします。

小林教育

教育総務課です。

総務課長

議題の(1) 第3次教育大綱の検証について、資料に沿って説明させていただきます。

資料1の1ページをお開きください。

委員の皆様の中には、説明内容をご存じの方もいらっしゃるとは存じますが、繰り返しの説明となりますが、よろしくお願いいたします。まず初めに教育大綱の説明を簡単にしたいと思います。

- 1 教育大綱とは、「地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する教育の目標や総合的な施策の根本的な方針を定めたもの。」であり、国の法律では、地方公共団体の長が、地域の実情に応じて、大綱を定めるよう規定されております。山鹿市においては、現在が第3次山鹿市教育大綱で本年が第4次山鹿市教育大綱の策定の年度となります。
- 2 教育大綱の定義についてですが、①にありますように、教育大綱はその目標や施策の根本となる方針を定めたもので、詳細な施策について策定する

ことを求めているものではないこと。

②に、地方公共団体の長が、地域の実情に応じて大綱を策定するということ。

- ③に、国の第4期教育振興基本計画を参酌するべきであること。
- ④に、期間については、4年から5年程度を想定しているところであります。

次の2ページをお開きください。

3 教育大綱に記載すべき内容につきましては、(1)教育の目標、(2)施策の根本的な方針、(3)教育、学術、文化の振興に関する総合的な施策の大綱となっており、本日開催の総合教育会議におきまして、協議、調整を尽くすことが重要となっております。

教育大綱の位置づけでありますが、山鹿市の最上位計画であります山鹿市総合計画と整合を図り、国の第4期教育振興基本計画を参酌する必要があります。教育大綱を定めましたら、基本理念、基本方針や基本目標をもとに、教育振興基本計画を策定し、その中で具体的な施策を進めていきたいと考えております。

策定年度につきましては、下に記載のあるとおり、総合計画、教育大綱、 教育振興基本計画全て、本年度が策定、令和8年度施行ということになりま す。

前置きが長くなりましたが、ただいまから、第3次教育大綱の検証を説明させていただきます。

時間が限られていますので、主なものを中心に説明いたします。 資料2の1ページをお開きください。

「I ひと輝く」になります。

「不登校対策事業」につきましては、不登校児童生徒数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、増加傾向でありますが、市教育支援センターの設置やサポートティーチャーの配置等により、熊本県内の他市町村に比べると少ない数字となっております。

「学習環境の向上と安全確保」につきましては、八幡小学校屋内運動場の整備や本年度で全ての小中学校及び幼稚園にLED照明機器の設置や防犯カメラ設置を行うなど、着実に快適な学習環境の整備が行われております。

「特別支援教育の推進」につきましては、合理的配慮協力員やサポートティーチャーを配置し、児童生徒の支援を行いました。その結果、「学校は楽しいと感じる児童生徒」の割合が増加傾向につながっております。

2ページをお開きください。

「Ⅱ きずな結ぶ」になります。

「ふるさと山鹿の歴史探検バス」につきましては、小中学校児童生徒 824 名が市内各所に残る豊富な歴史文化遺産の見学を通じて、ふるさと山鹿の文化、文化財及び先人の業績について知ることで、ふるさと山鹿を愛し、誇りに思う人材育成につながっております。

「地域学校共同活動等」につきましては、地域、学校、児童生徒、保護者、 行政の5者による連携によって、地域と学校の活性化につながり、令和6年 度に文部科学大臣表彰を受賞しております。

次の子ども課所管の事業につきましては、令和5年の組織改編により市長 部局に移管しましたが、今後も、子ども課と情報共有を含め、連携を深めて まいります。

3ページをお開きください。

「Ⅲ みらい彩る」になります。

「山鹿創生事業」につきましては、市内の中高校生が参加し、動画制作に携わり、山鹿市の良さや郷土愛の醸成の機会を作り、参加者の満足度も令和6年度は100%という結果となっております。

「ICT の利活用」につきましては、タブレットを活用し、効果的な学習に 寄与することができ、市内の全ての小中学校で学校情報化認定優良校となっ ております。

「読書活動の推進」につきましては、乳幼児から読書に親しむ取組として ブックスタート事業、ブックスタート・プラス事業を行い、移動図書館や図 書館イベントを実施することで、図書館利用者の増加を進めております。

主な事業の取組みと成果を説明いたしました。

教育委員の皆様には、先月の教育委員会でも議題とさせていただきましたが、「教育委員会の事務に関する点検評価報告書」ということで、毎年、教育委員会の事業に対するご意見、ご助言を頂いております。教育委員会職員一同、各事業の成果指標で定めました目標値達成に向けて、事業を推進しております。

以上で説明を終わります。

早田市長

ただいま説明をいただきましたが、委員の皆様のご質問・ご意見がございましたらお願いします。

堀田教育長

今後の方向性のところで、具体的に文書として書きにくいなという取り組みをいくつかやっておりますので、それを付け加えて説明します。目標を達成するためにどのような取り組みをするかというのが大きな点になります。

今担当から説明をしましたが、例えばで申し上げます。

「ひと輝く」のところの「自他の命を大切にする教育の推進」のところで、いじめは絶対許さないという教育を徹底して取り組んでいるところです。いじめは絶対山鹿から出さない、と言いながらも実際は出てきます。だから大きくならないように保護者にも子どもにもいじめは絶対許さない、という教育を展開しているということです。

それから、「確かな学力と健やかな体の育成」のところでは、「確かな学力」 「誰一人取り残さない」というキーワードのもとに、この夏休みもそれぞれ の学校で、特に厳しい子どもたちを集めて勉強を教えるという体制をとって います。

それから、「健やかな体の育成」については、先ほど市長からもありましたように、「健幸都市宣言」をしましたが、スクールバス等の影響もあり、子どもたちの体力はどんどん低下しています。そのことを踏まえて、2 学期から

全小学校で、朝からラジオ体操を、特別な時間を作って取り組むようにして います。 それから、「きずなを結ぶ」のところで、「ふるさと山鹿に関心を持つ」の ところは、今年、小学6年生全員を熊本県初の総理大臣である清浦奎吾伯の 記念館に、スクールバスを使って体験学習をさせているところです。この前 山鹿小学校が最後で、全学校終わりました。山鹿灯籠まつりも山鹿が誇る千 人灯籠踊りでございますが、今年からは特に中学2年生を全員教育活動の一 環として参加させるという取り組みを行っています。 それから、「生涯学習の充実」、ここは進んでいると書きましたけれども、 私としてはまだ不十分だなと思っているところです。 それから、「豊かなコミュニケーション能力」のところがありましたが、特 に今後の方向性にも書いております通り、今年少し取り組んでいますが、来 年から、幼少の子どもたちに、これは市長からの強いお願いもありました英 語教育に力を入れたいということで、英語の本を入れるようにしています。 また教育委員会に大きな寄附等もありましたので、幼稚園、それから小学校 の低学年全員に1人1冊ぐらい行き渡るような措置をやっていきたいなと思 っているところです。 この目標を達成するためにそういう取り組みをやっているということで ございます。 以上です。 早田市長 他にございませんか。 各委員 ありません。 早田市長 次に、ただいまの検証を踏まえて、議題(2)の『第4次教育大綱の策定』 を議題とします。説明をお願いします。 小林教育 教育総務課です。 総務課長 議題の(2) 第4次教育大綱の策定について、説明させていただきます。 資料1の3ページをお開きください。 現在の第3次山鹿市教育大綱を記載しております。 基本理念は、「古人(いにしへ)に学び つながり 支えあう "ふるさと 山鹿の創造"」になります。 3つの基本方針を定めており、 「I ひと輝く」 受け継がれてきた、かけがえのない「命」を輝かせる 教育を目指します。 「Ⅱ きずな結ぶ」 学びを支え、学びを軸につながりを広げる生涯学習 の向上を目指します。 広い視野を持って、主体的に行動する人材の育成を 「Ⅲ みらい彩る」 目指します、としております。 「基本目標」については、3 つの基本方針ごとに、それぞれ特に重点的な ものを、記載のとおり定めております。

資料3をお開きください。

説明は、割愛させていただきますが、国と熊本県の最新の教育振興基本計画を記載しております。前段に説明いたしましたが、国の計画を参酌するとなっておりますので、お知らせいたします。

また併せまして、前段で説明しました山鹿市の最上位計画であります山鹿 市総合計画については、現在、策定を進めているところです。総合計画の策 定にあたっては、審議会、策定委員会、専門部会等が開催されており、9月 には基本構想(原案)が策定される予定と聞いております。

資料1の7ページをお開きください。

最後に策定スケジュール(案)を掲載しております。

7月の覧にありますとおり、本日、第1回の総合教育会議で、市長及び教育委員の皆様からご意見を頂いております。

その後、事務局で整理・調整を行いまして、先ほどご説明しましたとおり 総合計画との整合性の必要がありますので、第2回の総合教育会議を9月開 催を予定し、教育大綱の素案の協議を行いたいと考えております。

会議を第4回まで予定しておりますが、素案・策定が早く決定すれば、第3回になる場合もあります。

次回の総合教育会議の日程や教育振興基本計画の骨子(案)につきましては、分かり次第お知らせしたいと思います。

以上で説明を終わります。

早田市長

基本的には第3次教育大綱の「古人(いにしへ)に学び、つながり 支え合う ふるさと山鹿の創造 Iひと輝く Ⅱきずな結ぶ Ⅲみらい彩る」 これでいいのではないかなと思いますけれども、それぞれの委員の皆様からもご意見があればよろしくお願いいたします。

野口委員

今市長がおっしゃったように、市長も変わられてないし、第3次大綱が引き継がれるというのは基本的なことかなと思います。

また、今検証をされた中で、もうこれは大丈夫というのは、少なくともなかったように思いますから、そこを繋ぐのは基本だと思いますが、その後変わったことは、例えば先ほども出ました「健幸都市宣言」をされてますので、それに関連した部分をもう少し色濃く出さなくていいのかなと思いました。

心と体の健康という部分で、「ひと輝く」の中に「自他の命を大切にする教育の推進」とありますが、豊かな心を育てるという部分で、いつもされていることなんですけど、人権であったり、いろんな体験活動であったり、交流活動を地域でもやっていくと豊かな心を育てることに繋がるのかなと思いました。

その部分は少し色が出せないかなというのが一つと、もう一つは「健幸都市宣言」の一番最初の方にいくつか項目ありますが、それを考えたときに、給食センターを作られますよね。それは大きな変化ですよね。ハードの面はそれでいいんですよ。だけど、それに合わせて食育にもう少し力を入れるような、あと4年の間にできるか分かりませんが、そこを最初にやっておかな

いと動きだしてからではなかなか難しいのではないかと思います。だから、 それを含めて、検討出来ないかなと思います。 型田市長 ありがとうございます。 豊かな心をつくるために学校だけではなくて、やはり地域と親ですね、そういうことが大切だということで、現在県の方では子どもの教育とともに親の教育も必要じゃないかということで、条例も作ってありますが、そういったなかなか親に教育をするというのはいろいろなやり方があるかと思いますが、確かに必要なことだと思います。 それからさっき言われた食育ですね。食育も本当に大事なんだろうと思い
型田市長 ありがとうございます。 豊かな心をつくるために学校だけではなくて、やはり地域と親ですね、そういうことが大切だということで、現在県の方では子どもの教育とともに親の教育も必要じゃないかということで、条例も作ってありますが、そういったなかなか親に教育をするというのはいろいろなやり方があるかと思いますが、確かに必要なことだと思います。
豊かな心をつくるために学校だけではなくて、やはり地域と親ですね、そういうことが大切だということで、現在県の方では子どもの教育とともに親の教育も必要じゃないかということで、条例も作ってありますが、そういったなかなか親に教育をするというのはいろいろなやり方があるかと思いますが、確かに必要なことだと思います。
ういうことが大切だということで、現在県の方では子どもの教育とともに 親の教育も必要じゃないかということで、条例も作ってありますが、そうい ったなかなか親に教育をするというのはいろいろなやり方があるかと思い ますが、確かに必要なことだと思います。
親の教育も必要じゃないかということで、条例も作ってありますが、そういったなかなか親に教育をするというのはいろいろなやり方があるかと思いますが、確かに必要なことだと思います。
ったなかなか親に教育をするというのはいろいろなやり方があるかと思いますが、確かに必要なことだと思います。
ますが、確かに必要なことだと思います。
それからさっき言われた食育ですね。食育も本当に大事なんだろっと思い
ርጉ <u>ጉ</u>
ます。
他にございませんか。
予中委員 今回改定の時期が来たということで、今日この会議に臨むにあたって私が ************************************
考えてきたのは、先ほど市長も言われましたけれども、時代に合ったものに
本当になるかどうかということをまず見なくてはならないと思いました。と
いうのは、この間の世界の変化があまりにも激しかったですよね。何が足り
ないのかなと思ってきたんですが、今日市長の話を聞きながらその通りだな
と思いました。最初に話をされたときにも、奇しくもちゃんと言われてるん
ですよ。世界の変化のこととかですね。ただやはりその時点での我々の必要
性の中で、私の中では多少落としていた部分があったかも知れないなと思い
ました。 あともうあまり入れると複雑になるのかもしれませんが、今はぜひとも必
要だと思っていることは防災関係ですね。市長も最初のときに、先ほど読ま
れた中にも出てきて、安全安心で暮らせるための、確かに山鹿はとても防災
的にはいいんですが、防災教育という意味では、私辞めてから 10 年見てき
て、あまり学校の中でも、子どもの資質として高めないと、という意識は少
し足りないんじゃないかなと思うんですよ。でもこのような自然環境の状況
じゃないですか。それと、世界の情勢じゃないですか。昔からもう既に30数
カ国は紛争の中にあったわけですけれども、最近はひどいですよね。
その中で、飢餓の問題もありますね。平和教育として平和と人権の問題そ
ういったところにもう少し大綱の中で踏み込めないかなと。すごく苦労して
作った気がするんですが、準備いただきながらすごくいい状態でまとめられ
てきたと思うんですよ。それに対して、行政側も非常に綿密に訴えられてき
た。
だけど、今これから先の中で足りないものは何かなと考えると、やはり世
界の状況を反映したような大綱にしていくには、今申しましたような防災と
平和人権、そのあたりかなと思います。
里田市長 本当にあちこちで紛争が起こっていて、台湾で間近に有事のときにどうし
なければいけないかと思いますが、そういったことはあってはなりません
が、災害が起きたときの自助共助を考えますよね。その辺が大事だと思いま
す。
他にございませんか。何でも構いません。

野口委員	今日は子ども課は来られているんですか。
对日安县	/ H (\$ 1 C O D) (\$ 70 C) N 6
小林教育	子ども課は来ておりません。
総務課長	, a spinistic (4-) start
野口委員	今まで作ったときはまだ教育委員会に子ども課があったので不思議に思
	わなかったんです。この部分も大事ですからね。
	子ども課も入れないかなと思いますが。子ども課が来ないと話にならない
	と思います。
早田市長	幼児教育のところですね。
野口委員	はい。
	特に市長が幼児教育に力を入れるというのは、小さいときからするんだと
	いう話なので、この会議にやはり子ども課は必要じゃないですか。
小林教育	子ども課と学校との連携は、今実際に行っておりますので、今後の教育振
総務課長	興基本計画の方に盛り込んでいきたいと思います。子ども課の施策につきま
	しては、先ほど冒頭ありましたように総合計画の方でしっかりうたっており
	ますので、そちらと連携を深めながら進めていきたいと思っています。
	教育委員会としては、子ども課は今回市長部局に移管しておりますので、
	その中には組込めないような状況になります。
野口委員	今のは意味がよく分かりません。
小林教育	子ども課は市長部局の方に移管しましたので、今度の教育振興基本計画の
総務課長	中には、子ども課の施策は入ってこない予定になっております。
堀田教育	具体的な取り組みの中には連携しながら入れていくということはしっか
長	りお願いします。
小林教育	教育委員会の事業の中には入ってきません。
総務課長	
野中委員	何か縦割りの悪いところが出ているのかなと思いました。
早田市長	幼児でも例えば小学校一年生が英語教育をしないので、そこに力を入れて
	いく中で、教育委員会でその下の保育園児とか幼稚園児は別の連携で英語教
	育をしていくということですね。
小林教育	_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
総務課長	は入っていないというだけです。
野口委員	それが分からないです。この場に入っていないのはなぜなのか。これは教
	育委員会の会議ではなくて、教育大綱の総合教育会議ですよね。その中で教
	育大綱を皆さんで検討しましょうというときに、子ども課がいないのが不思
	議なんです。難しいですか。

早田市長	今日子ども課はいませんがしっかり話は繋いで、また会議するときはぜひ
	子ども課も参加させてください。
小林教育	分かりました。次回の会議では子ども課も呼びたいと思います。
総務課長	
堀田教育	幼稚園も教育大綱には入っているんですよね。幼稚園からも参加させるの
長	は構いませんよね。
小林教育	構いません。
総務課長	
早田市長	他にございませんか。大体 1 時間くらい予定していますので、あと 20 分
	ほどあります。
堀田教育	立山委員とも少し事前に話していたんですが、トップが代わることで大変
長	だよねと。宮古島の例を言われていましたが、トップが代わると本当に下が
	やりにくい。方向性が変わるのでやりにくいという話をしていました。
	それと同じように、先ほど野口委員が言われたように市長も2期目に入っ
	て、1 期目にこういう目標を出されましたが、まだまだ市民まで徹底してい
	ないと思うんですよね。こういう教育をやっているということを市民まで徹
	底していないということで考えれば、継承していくというような方向に行っ
	ているのはとてもいいなと思います。こういう目標を立てたらみんなが分か
	って、こんな方向性を持っているんだということを理解したうえで、成果が
	出るまでは徹底して取り組まなければいけないと思っています。
早田市長	私も常日頃、本当に山鹿市の行政、いろいろな事業を、よそに負けないぐ
	らい良い事をたくさんしているんですよね。でもそのことが全然伝わってな
	い。市民に伝わってないということですね。
	いつも言っているのが、山鹿の教育というのは本当に学力も体力もトップ
	レベルなんですよ。実質学力はトップなんですけど。それが自慢できない、
	言いづらいというところがあって、PTA の役員の方でさえも知らないんです
	よ。「学力はトップなんですよ。」と言っても、「え、そうなんですか。」って。
	だから、せめて教育の関係者には山鹿が立派な教育をしているというのを
	伝える。自慢はしなくてよいですが、職員の皆さん方も自信を持って伝えて
	もらいたいと思います。そのことで、学校の先生たちも自信を持って熱心に
	教えられますし、移住してくる人もおられると思います。山鹿で教育を受け
	させたいということに繋がっていくと思いますので。
	話がずれましたが、これはもう山鹿市職員全体に言えることなんです。山
	鹿は中に入って思ったんですが、素晴らしいことをどんどんやられています
	ので、そういった意味でも教育のサイドとしても、ぜひ PR をしっかりやっ
	ていただきたいと思います。
	他にございませんか。
芹川委員	読ませていただいて一番に思ったのは、学校の教育に対してもそうです
	が、信頼関係作りが一番大切かなと思います。
	今言われたように、情報発信したり、情報交換したり、そういったことを
	行うことで、仲間作りとかいろいろなものが広がってくるのではないかなと

	思いました。
	どの分野でも信頼関係作りを深めるような取り組みができたらいいかな
	というのを思ったところです。
立山委員	教育大綱については満足しているのですが、やはり良いのをいくら作って
	も、「発信力」、これを皆さんに知ってもらうのが一番大事だと思います。保
	護者は当たり前ですが、子どもたちにも YouTube で視聴してもらって PR す
	るのも面白いかもしれないと思いました。
早田市長	ありがとうございます。
	発信力が弱いということと時代の流れから見ると、YouTube の活用がいい
	かも知れないですよね。
	YouTube で流している学校はあるんですか。こういうことをしましたとか。
	そういうのはないですか。
佐藤教育	顔が見える形で YouTube の動画というのはなかなか厳しいかもしれません
総務課政	が、今みたいに大綱について具体的にこうするということについて動画で発
策主幹	信することは問題ないと思います。
早田市長	顔が見える見えないはその人の許可があればいいわけですよね。中島アド
	バイザーがやっている Nintendo Switch を使ったプログラミング学習です
	が、日本で初めてのことをやっていて、これからの時代というのは特に必要
	な教育だろうと思います。そういうこともあまり知られていないですよね。
	任天堂が行政とタッグを組むのは初めてだったんですよ。これを山鹿モデル
	にして文部科学省に提唱し、全国に広めようとしています。
	そういう目標があって、今小学校6年生が学習していますが、本来ならば、
	これが小学校・中学校・高校と繋がっていって、大学になったら専門的なと
	ころが全国にありますので、そこでまた専門的に学んで、山鹿から日本を引
	っ張るような人たちが生まれていくんじゃないかなと思うんですが、今小学
	校だけしかやってないので、ぶつと切れたらもったいないなと思います。
	中学校は山鹿市でどうにかなりますが、高校になると県とか私立に引き継
	いでいかなくてはいけない。その辺の難しさがあると思います。
野中委員	教育大綱を作ってすぐは、例えば学校とかいろいろな市の施設に貼ってあ
	ったんですよ。正直、今は見かけないんですよ。YouTube の話もいいのです
	が、例えばやまがメイトとかで発信するとか。この前やまがメイトに登録し
	ている人の数を聞いてびっくりしました。鹿北地区と菊鹿地区が多いんです
	ね。山鹿地区はものすごく少ないんですよね。結局どっちもどっちだと思う
	んですよね。
	本当に見たくなるようなものが出てくるような、今おっしゃったようなこ
	とを YouTube に代わるようなものがうまくシステムの中に組み込めると、今
	日のやまがメイトちょっと見てみようとなるんでしょうけど。その辺が山鹿
	市民をつないで一つに持っていくところの突破口になりやすいかなと思い
	ました。

佐藤教育	ポスターを作って掲示していますし、特に指導室の会議資料の要所要所に
総務課政	方針を掲載して周知はしています。学校にも貼ってもらっています。ただし、
策主幹	市民向けがなかなかできていないようなところはあるかもしれないと思い
	ます。
野中委員	校舎の中にも貼ってあるはずなんですけど、入ってすぐの目に付く場所に
	はなくなったかなと思います。私が行った学校だけに限られているかもしれ
	ないですが。
堀田教育	ぜひ市民への啓発のためにも周知を徹底しましょう。
長	
早田市長	例えばあいさつ運動のときに、「ひと輝く」「きずな結ぶ」「みらい彩る」と
	いう部分を子どもたちに合唱させるとか、挨拶するとどうでしょう。合言葉
	みたいな。
立山委員	先ほどのやまがメイトの話なんですが、LINE にできないんですかね。LINE
	だと毎日開くんですけど、メールだと2日に1回とかしか開かないんです。
	たまにたくさん連絡が来ていて、まあいいやって感じで見ないときもありま
	す。LINEの方だったら毎日開くので、LINEにできたらいいなと思いました。
早田市長	やまがメイトもいろいろな情報が入ってくるからあまりにも通知が来す
	ぎて煩わしいという人もいますよね。我々からすると葬式の情報とかイベン
	ト情報とかはとてもためになります。情報発信をどうするか課題ですね。
	他に何かございませんか。
	さっき言われたいじめに関することは「ひと輝く」のところに入ってくる
	んですかね。
堀田教育	はい。「自他の命を大切にする教育の推進」のところですね。
長	
野口委員	そこはですね、まだ他にも取り組みをやっているんですが、ここには不登
	校と心のケアということだけ出ていて、教育的なところはここから抜けてい
	るんですよ。でも実際はやっているんですよね。
堀田教育	具体的なところに入りますがやっていますね。関連はするものは全部繋が
長	っていくんですがどう表すかですね。
	去年の県の事業説明会の発表で引きこもりがかなり多いということで、私
	は知らなかったんですが、そういう情報もありました。
早田市長	それは県全体ですか。
堀田教育	あれは山鹿の部分だったと思います。 鹿本地域振興局の説明会のときだっ
長	たので。そこは実態としてあります。
早田市長	義務教育等で改善できるかどうかですね。
I HIIIX	420040 F V C G C G C G C G C G C G C G C G C G C
堀田教育	そうですね。大人のひきこもりということでしたが、とても気になったん
長	ですよね。
	小学校・中学校のときから不登校の子どもたちが、大人になってもそのま
	ま引きこもりになっているのか、というのをとても心配しましたが、質問で

	きませんでした。そういう流れがあるから、今引きこもっている大人も、小
	学校・中学校のときにいろいろなことで不登校になった子なのかなというの
	はとても気になるんですが、そこら辺は私たちも検証しなければならないと
	思います。
早田市長	それでは、よろしいでしょうか。
	次に、3『その他』へ移ります。
	事務局より何かございますか。
小林教育	先ほど説明しましたが、次回の開催日程についてです。 第3次山鹿市総合
総務課長	計画の基本構想の案が9月にお示しできると考えておりますので、その計画
	との整合性を図る必要がございますので9月の開催を予定しております。ま
	た日程等が決まりましたら、委員の皆様にはご連絡いたします。
	以上です。
早田市長	委員の皆様、よろしいでしょうか。
各委員	はい。
早田市長	それでは、本日は、大変貴重なご意見をいただき、誠にありがとうござい
	ました。
	以上で、議事を終わります。ありがとうございました。
佐藤教育	
総務課政	
策主幹	なお、この後の定例教育委員会会議は、10 時 30 分から開催したいと思い
	ますので、委員の皆様よろしくお願いします。
	それでは、これをもちまして、令和7年度 第1回 山鹿市総合教育会議
	を終了します。
	ご起立をお願いします。礼。お疲れ様でした。